



流山市消防団ニュース

第41号・平成22年12月25日発行

消防団活動を市民の皆さんとともに進め、安全で豊かな郷土づくりに寄与することを目的とした消防団発行の防火防災の情報誌です。

「消したかな」
あなたを守る
合言葉

編集・発行／流山市消防団本部／流山市三輪野山一丁目994 TEL. 7158-0119



地域の防災にあなたのチカラをかせてください。

★消防団員募集！★

災害はいつ襲ってくるかわかりません！
自分のまちは自分で守ろう！



阪神・淡路大震災において、消防団は、消火活動、要救助者の検索、救助活動、給水活動など、幅広い活動に従事しました。特に、日頃地域に密着した活

- 平成22年 鹿児島県奄美地方豪雨
- 平成21年 中国・九州北部豪雨
- 平成20年 東京豊島区ゲリラ豪雨
- 平成20年 岩手・宮城内陸地震
- 平成19年 新潟県中越沖地震
- 平成19年 能登半島地震
- 平成17年 福岡県西方沖地震
- 平成16年 新潟県中越地震
- 平成16年 阪神・淡路大震災

【消防団とは】
消防団は、本業を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、地域の安心と安全を守るために活躍している人たちが集まる市町村の機関の一つです。火災発生時における消火活動はもちろんです、近年発生している集中豪雨災害、地震災害等の大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎよ活動などに従事し、地域住民の生命・身体・財産を守るために活躍しています。
流山市内に在住、在勤の方で入団を希望される方、または、消防団に興味を持たれている方は、地元の消防団もしくは、消防本部消防総務課まで、お問い合わせください。



普段からの教育訓練



地域の防災リーダーとしての活動



災害活動

【消防団の活動】

新分団長の抱負



第1分団 伊原 正則

管轄地域
流山の一部、流山5,6,7,8,
9丁目、南流山5,7丁目

地域の皆さんの役に立つ消防団として、分団員と頑張りたいと思います。



第5分団 岡本 新一

管轄区域
鱈ヶ崎、南流山1, 2, 3,
4丁目、流山の一部

今年から、第5分団長になりましたが、大切に思っていることは、これまで先輩達から教わったことを5分団の仲間と共に積み上げていき、地域の防災・安全に貢献できるように頑張っていきたいと思っています。年末に向けては、防災訓練や火災予防の警戒パトロールを皆で取り組んでいき



第6分団 大塚 洋一

管轄区域
西平井、平和台2,
3, 4丁目

たいと思います。

火災ゼロを目指し、近隣の分団や地元の自治会の方々と協力し合い活動していきたいです。ただ今、団員募集中です。興味のある方は、毎月第1土曜日の夜の巡回、春、秋、歳末警戒、9月の消防操法訓練等で消防団員を見かけましたらお気軽に声をかけてください。



第7分団 西島 正樹

管轄区域
加、加1,4丁目の一部、加
2,3丁目、平和台1,5丁目

日頃より管轄地域の皆様には第7分団の活動にご理解と



第8分団 鈴木 明宏

管轄区域
三輪野山、三輪野山
1～5丁目

ご協力を賜りまして有難うございます。これからも地域の皆様の安全と財産を守るため自己を磨いていきたいと思えます。今後とも、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

月に2回程度、パトロール等の活動を行っておりますが、人員が足りません。地域の皆様に消防・防災活動の意義を知って頂き、同じ志を持った仲間を増やしながら市民の方々の安心安全のためのお手伝いをしてまいります。



第11分団 石山 智一

管轄区域
東深井、こうのす台

責任者としての立場が強く感じられるなか、先輩達が築き上げた功績に助けってもらいつつ努力しています。これからも分団員の団結力を大事にし、日々の経験と実績を活かしながら地域のために頑張っていく所存であります。皆様方にもご指導ご協力お願いいたします。



第13分団長 秋元 孝夫

管轄区域
中野久木、富士見台、
富士見台1, 2丁目

今年から分団長に就任した秋元です。我分団は、団員数が11名と小さな所帯ではありますが、「皆で仲良く、訓練に厳しい13分団」をモットーに地域に貢献できる消防団を目指して活動していく所存です。





第19分団 染谷 茂雄

管轄区域
駒木、十太夫、美田

私たち、「FIRE-19」は、「自分たちのまちは、自分たちで守るという郷土愛の精神に基づき、地域の突然の災害に対し、優しさ、勇気、厳しさを持つ消防団が真っ先に現場に駆けつける機動性を有しています。」

「この街が好き、この街の人が好き！」ただその一念で、あらゆる災害に挑戦する「FIRE-19」として、これからも、組織の充実、強化を図り、魅力ある消防団を目指し邁進していきたいと考えておりますので、皆様のご支援、ご協力を心よりお願いいたします。



男たちの熱き闘い

4分団、2年連続優勝！

実戦消防操法大会



第19回流山市消防団実戦消防操法大会が平成22年10月3日（日）、文化会館駐車場で行われました。この大会は、市内23の分団が、ポンプ車操法及び小型ポンプ操法の部に分かれ、想定された火点（標的）に20メートルのホース3本を迅速かつ確実に延長して放水。チームの士気や規律、動作、器具の精通度、放水までの所要時間等を競い合いました。



【大会結果】 ★ポンプ車操法の部★ 団体表彰

優勝

準優勝 第4分団

第3位 第1分団

個人表彰（最優秀選手）

指揮者：保坂 勝己

1番員：我如古 大輔

2番員：中橋 憲泰

3番員：佐藤 暢俊

4番員：金子 敏和

★小型ポンプ車操法の部★

優勝 第10分団

準優勝 第6分団

第3位 第8分団

第4位 第20分団

第5位 第5分団

個人表彰（最優秀選手）

指揮者：荒井 悟

指揮者：石井 勲

1番員：木崎 行孝

2番員：小倉 崇弘

3番員：今野 佑介

2年連続優勝、第4分団長のコメント

実戦消防操法大会二年連続優勝できたのもこれもひとえに、夜間訓練に団員をはじめ、ご指導頂きました消防署指導員の皆様、各自治会、地域の皆様方のご協力のもと連覇を成し遂げることができました。改めて御礼申し上げます。この大会で得た技術・経験を活かし今後も地域防災、消防団活動に貢献できる様、分団員一人一人が誇りを持って活動していきたいと思っております。

応援に訪れた自治会関係者や消防団OB、家族等が声援を送るなか、白熱した競技が行われました。

「パパの応援に来ました。」という娘さんは、「いつもよりかっこいい、頑張ってるね。」と応援していました。



流山市初、救助資機材搭載型車両を配備

救助資機材を積載した最新鋭車両を第5分団に配備

市役所で井崎市長や加藤団長、消防関係者、第5分団後援会などが参列するなか、第5分団への引き渡し式が行われました。



この新車両は、国の事業の一つで市町村に無償貸付配備されたものです。火災の出動の他、地震等の大規模な自然災害でも活躍できるよう、標準的な救助資機材を装備したものです。



積載されているのは、①小型動力ポンプ、②手動式油圧救助器具（開口・切断兼用）、③エンジンカッター、④チェーンソー、⑤携帯用破壊器具（石材・モルタル・ボルト等）、自動体外式除細動器（AED）等が積載されています。



① ② ③ ④ ⑤

岡本分団長は、「災害で十分活動できるように資機材、AEDの訓練を重ね、地域住民の安心・安全に役立てたい。」と抱負を語ってくれました。

平成22年度消防団事業計画

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	6月	5月	4月
春季全国火災予防運動 第六十二回千葉県消防大会 (1日〜7日) (千葉市内予定)	第三回方面隊長会議 (中旬開催予定)	平成二十三年流山市消防出初式 (流山市文化会館 8日)	第二回方面隊長・分団長会議 歳末火災予防特別警戒 (25日〜31日)	秋季全国火災予防運動 单身高齢者世帯防火診断 (9日〜15日) (11月〜平成23年2月)	流山市消防団実戦消防操法大会 第四十六回消防殉職者合同慰霊祭 (流山市文化会館) (千葉県消防学校)	指導員科第三十八期入校 (千葉県消防学校)	流山市花火大会警備 松戸・流山消防職団員幹部協議会 (流山市) (小山小学校)	夏季訓練 第二十九回東葛飾支部消防操法大会 (上耕地運動場) (鎌ヶ谷市)	東葛中部連合水防演習 訓練指導科第二十九期入校 (流山市) (千葉県消防学校)	第一回方面隊長・分団長会議 利根川水系連合水防演習視察 (群馬県板倉町)

消防出初式

平成23年消防出初式が、1月8日(土)午前9時30分から流山市文化会館で行われます。

式典には、消防職員、消防団員を始め、消防関係者ら約600人が参列します。新年を迎え、防災活動に対する決意を新たにすると共に、市の消防行政に貢献された方々への表彰が行われます。

また10時30分頃からは、同駐車場で消防署、消防団による訓練が実施されるほか、流山幼稚園の園児による、可愛いらしい遊戯を披露する予定です。ぜひ皆様ご来場下さい。

なお、消防本部では、当日の朝7時に、市内一斉にサイレンを鳴らして火災予防をPRしますので、火災と間違えないようご注意ください。